

TNF- α / IL-17A / IFN- γ を標的とした 新規炎症性皮膚疾患に対する外用剤の開発

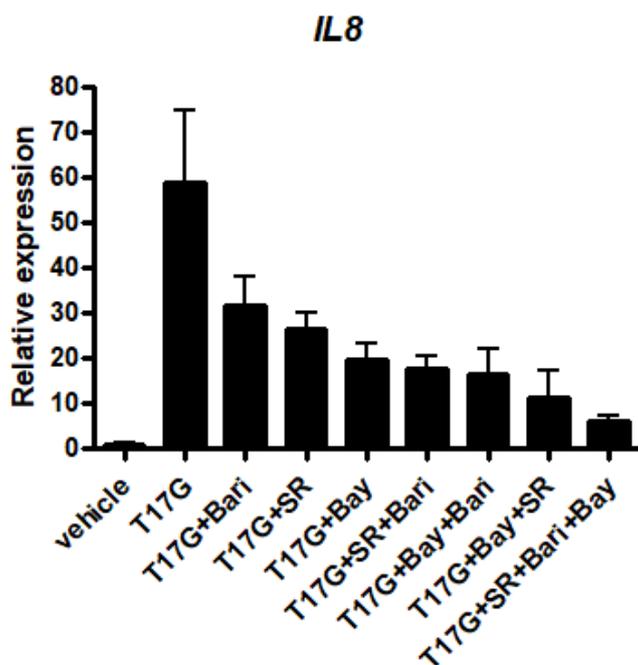
大学院医歯薬学総合研究科(医) 教授 森実 真

炎症性皮膚疾患、乾癬、外用剤、サイトカイン

研究シーズ概要

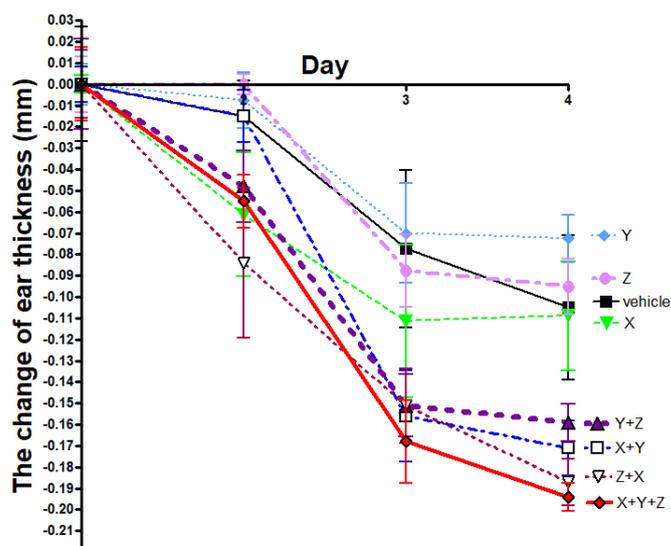
近年の乾癬診療においてはTNF- α またはIL-17Aのシグナルを遮断する抗体製剤が非常に高い改善効果を示している。我々は、TNF- α /IL-17A/IFN- γ の3つのサイトカインを同時に抑制する外用剤の開発を目指している。本外用剤であれば、ステロイド化合物を含有することなく高い効果を発揮するため、ステロイド化合物を長期間用いた場合の副作用を回避することができる。

3つのサイトカインを同時に阻害する3剤併用の効果



ヒト表皮角化細胞をTNF- α (T, 50ng/ml), IL-17A (17, 50ng/ml), IFN- γ (G, 50ng/ml), baricitinib (Bari, 10^{-7} M), Bay11-7082 (Bay, 10^{-6} M), SR11302 (SR, 10^{-6} M) で24時間刺激後、IL-8 mRNAの発現量をリアルタイムPCRで測定した。

TNF- α , IL-17A, IFN- γ のシグナル伝達を阻害する
試薬X, Y, Zの併用効果



イミキモド乾癬モデルマウス
(耳にベセルナを6日間塗布)

知財状況

特願2020-081757、外用剤組成物、岡山大学、森実 真

共同研究先への要望

炎症性皮膚疾患に対して、NF- κ B阻害剤、AP-1 (activator protein 1) 阻害剤、及びJAK (Janus kinase) 阻害剤を含む外用薬を開発希望の企業との共同研究を求めています。

岡山大学 研究推進機構 産学連携・知的財産本部

担当産学官連携コーディネーター: 准教授 嵯峨山 和美

Tel: 086-251-8472 E-mail: sangaku@okayama-u.ac.jp

http://www.orpc.okayama-u.ac.jp/

